

# 田畑売買価格等に関する調査結果

—— 平成24年度 ——

平成25年3月

秋 田 県 農 業 会 議



# 目 次

はしがき

I. 調査結果の概要	1
1. 概観	1
2. 耕作目的自作地売買価格の動向	1
3. 農用地域における自作地売買価格の動向	7
4. 転用目的自作地売買価格の動向	11
II. 平成24年度田畑売買価格等に関する調査要領	13



# は し が き

農業所得の低迷や農業従事者の減少・高齢化、遊休農地の増加など、農業を取り巻く厳しい情勢が続く中で、国では「攻めの農林水産業推進本部」を立ち上げ、農山漁村に受け継がれた豊かな資源を活用した経済成長と多面的機能の発揮を目指して、新たな施策を展開しようとしています。

こうした中で、今年度から地域農業の中心となる経営体と、それらの経営体への農地の集積の方向性を定める「人・農地プラン」の作成が進められており、今後プランに位置付けられた認定農業者や農業法人等の経営体への農地の集積と、効率的な利用を推進することが求められます。

本冊子は、県内25市町村農業委員会の協力を得て農地価格を調査し、その結果を公表することで農業経営の改善に役立てていただくとともに、県内農業の発展にも資することができるよう取りまとめたものです。この調査が農地の有効利用や、農業経営の改善に活用していただければ幸いです。

最後に、調査実施にあたりご協力をいただきました各市町村農業委員会にお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月

秋 田 県 農 業 会 議



# I. 調査結果の概要

## 1. 概 観

平成 24 年の農地価格は、全県の多くの地域・区分で横ばいまたは下落となっている。特に、純農業地域の農用地区域の中田価格（県平均）は対前年比 98.0%（表－1）となり、年度によって差はあるものの年 2～10%の下落が昭和 61 年（1,477 千円）をピークに 26 年連続して続いている。

この主な要因として、中田売買価格では「米価などの農産物価格が低い」（表－1 2）が、中畑売買価格では「農地の買い手が少ない・買い控え」（表－1 3）が挙げられている。

※純農業地域：都市計画法の線引きが完了している秋田市及び潟上市を除く 23 市町村

## 2. 耕作目的自作地売買価格の動向

### （1）純農業地域の自作地売買価格（表－1、参考－1）

全体的に下落傾向にあり、農用地区域内の中田価格は県全体では対前年比 98.0%に下落している。また中畑価格は県全体では対前年比 96.1%に下落している。

一方、農用地区域以外の区域では、秋田地域の中田・中畑で上昇となったほかは、各地域ともに横ばい、または下落する結果となった。

表－1 純農業地域の地域別自作地売買価格

（単位：千円／10a）

地 域	中 田						中 畑					
	農用地区域内			農用地区域以外の区域			農用地区域内			農用地区域以外の区域		
	23年	24年	対前年比	23年	24年	対前年比	23年	24年	対前年比	23年	24年	対前年比
鹿 角	550	550	100.0%	956	956	100.0%	254	254	100.0%	469	469	100.0%
北秋田	581	581	100.0%	625	608	97.3%	184	184	100.0%	226	226	100.0%
山 本	464	461	99.4%	384	341	88.8%	153	148	96.7%	127	113	89.0%
秋 田	608	605	99.5%	475	532	112.0%	301	270	89.7%	375	398	106.1%
由 利	729	710	97.4%	810	810	100.0%	305	304	99.7%	393	393	100.0%
仙 北	550	514	93.5%	623	603	96.8%	230	209	90.9%	370	346	93.5%
平 鹿	707	675	95.5%	883	867	98.2%	381	365	95.8%	448	448	100.0%
雄 勝	635	629	99.1%	543	537	98.9%	256	250	97.7%	276	266	96.4%
平 均	603	591	98.0%	662	657	99.2%	258	248	96.1%	335	332	99.1%

参考－１ 農業地域類型別自作地売買価格

(単位：千円／10a)

農業地域 類型	中 田						中 畑					
	農用地区域内			農用地区域以外の区域			農用地区域内			農用地区域以外の区域		
	23年	24年	対前年比	23年	24年	対前年比	23年	24年	対前年比	23年	24年	対前年比
都市的地域	811	805	99.3%	1,186	1,167	98.4%	409	404	98.8%	673	656	97.5%
平地農業地域	654	628	96.0%	724	703	97.1%	317	295	93.1%	414	394	95.2%
中間農業地域	632	606	95.9%	618	638	103.2%	254	240	94.5%	275	261	94.9%
山間農業地域	497	488	98.2%	482	492	102.1%	185	183	98.9%	191	191	100.0%
計(平均)	603	591	98.0%	662	657	99.2%	258	248	96.1%	335	332	99.1%

(2) 都市農業地域の自作地売買価格(表－2)

田畑とも、前年と比較して市街化調整区域、市街化区域ともに下落する結果となった。

※都市農業地域：都市計画法の線引きが完了している秋田市及び潟上市

表－2 都市農業地域の自作地売買価格

(単位：千円／10a)

農業地域類型	中 田			中 畑		
	市街化調整区域		市街化区域	市街化調整区域		市街化区域
	農用地区域内	農用地区域以外の区域		農用地区域内	農用地区域以外の区域	
都市的地域	1,450	2,400	5,502	1,325	2,233	5,871
平地農業地域	540	508	4,000	270	479	2,750
中間農業地域	875	650	5,032	226	483	
山間農業地域	583			250		
計(平均)	844	1,258	4,854	449	885	4,926
平成23年度	942	1,318	5,015	499	1,043	5,092
対前年比	89.6%	95.4%	96.8%	90.0%	84.9%	96.7%



(3) 農用地区域内中田売買価格の年次別推移 (表-1、表-3、図-1)

平成24年の平均中田売買価格は591千円で、対前年比2.0%の下落(△12千円)、10年前(平成14年)よりも67.2%に下落(△289千円)している。

地域別に10年前の価格と比較すると、最も下落幅の大きい仙北地域で55.0%、最も下落幅の小さい鹿角地域で78.6%となっている。

表-3 農用地区域内中田売買価格の年次別推移

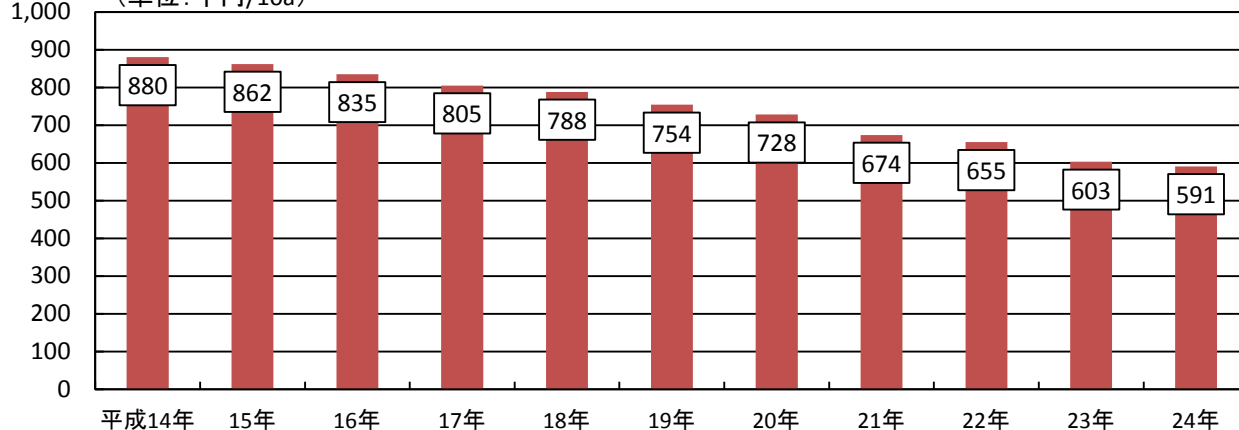
(単位：千円/10a)

区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	平均	
価格	H14年	700	746	647	840	1,068	934	1,014	1,058	880
	15年	701	710	639	838	1,049	894	969	970	862
	16年	698	703	616	834	1,039	856	948	877	835
	17年	691	696	613	826	1,011	801	847	877	805
	18年	687	690	603	818	998	790	857	792	788
	19年	682	690	572	794	971	713	838	758	754
	20年	682	666	540	732	951	685	822	729	728
	21年	682	620	505	721	749	649	795	698	674
	22年	646	620	499	716	746	623	718	698	655
	23年	550	581	464	608	729	550	707	635	603
	24年	550	581	461	605	710	514	674	629	591
平成14年との比較	H14年	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	15年	100.1%	95.2%	98.8%	99.8%	98.2%	95.7%	95.6%	91.7%	98.0%
	16年	99.7%	94.2%	95.2%	99.3%	97.3%	91.6%	93.5%	82.9%	94.9%
	17年	98.7%	93.3%	94.7%	98.3%	94.7%	85.8%	83.5%	82.9%	91.5%
	18年	98.1%	92.5%	93.2%	97.4%	93.4%	84.6%	84.5%	74.9%	89.5%
	19年	97.4%	92.5%	88.4%	94.5%	90.9%	76.3%	82.6%	71.6%	85.7%
	20年	97.4%	89.3%	83.5%	87.1%	89.0%	73.3%	81.1%	68.9%	82.7%
	21年	97.4%	83.1%	78.1%	85.8%	70.1%	69.5%	78.4%	66.0%	76.6%
	22年	92.3%	83.1%	77.1%	85.2%	69.9%	66.7%	70.8%	66.0%	74.4%
	23年	78.6%	77.9%	71.7%	72.4%	68.3%	58.9%	69.7%	60.0%	68.5%
	24年	78.6%	77.9%	71.3%	72.0%	66.5%	55.0%	66.5%	59.5%	67.2%

注) 都市計画法区域市町村を除く

図-1 中田売買価格の年次別推移

(単位：千円/10a)



(4) 農用地区域内中畑売買価格の年次別推移 (表-1、表-4、図-2)

平成24年の平均中畑売買価格は248千円で、対前年比3.9%の下落(△10千円)、10年前(平成14年)よりも63.8%に下落(△141千円)している。

地域別に10年前の価格と比較すると、最も下落幅の大きい仙北地域で43.0%、最も下落幅の小さい鹿角地域で87.6%となっている。

表-4 農用地区域内中畑売買価格の年次別推移

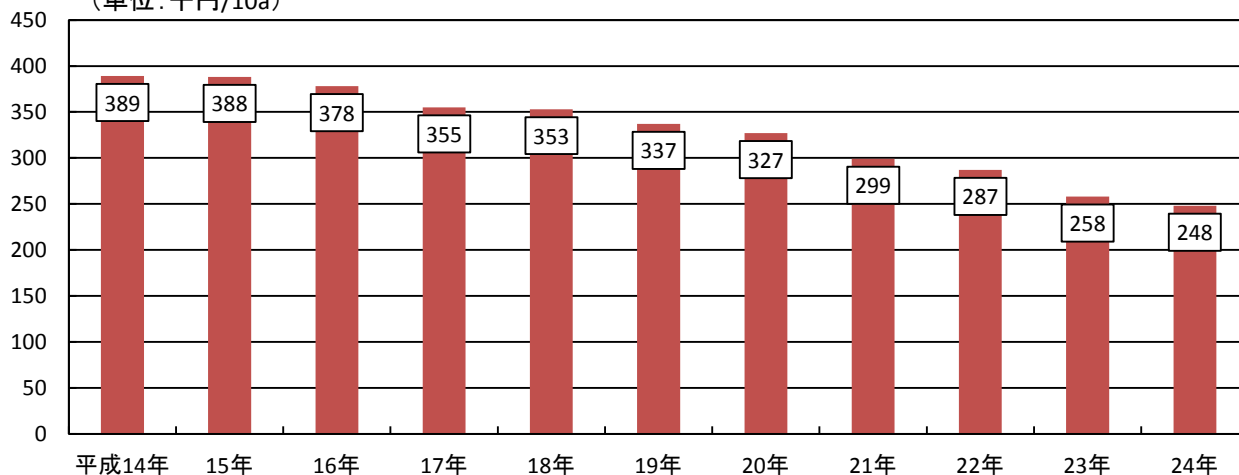
(単位:千円/10a)

区分	鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	平鹿	雄勝	計	
価格	H14年	290	263	214	349	475	486	555	480	389
	15年	286	250	212	350	469	474	521	425	388
	16年	286	246	200	348	468	465	513	389	378
	17年	278	243	199	342	451	413	439	389	355
	18年	278	240	199	341	451	404	481	357	353
	19年	278	240	180	325	453	364	469	329	337
	20年	278	227	176	319	422	351	464	325	327
	21年	278	222	172	308	310	319	455	300	299
	22年	278	222	170	303	308	298	411	298	287
	23年	254	184	153	301	305	230	381	256	258
	24年	254	184	148	270	304	209	364	250	248
平成14年との比較	H14年	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	15年	98.6%	95.1%	99.1%	100.3%	98.7%	97.5%	93.9%	88.5%	99.7%
	16年	98.6%	93.5%	93.5%	99.7%	98.5%	95.7%	92.4%	81.0%	97.2%
	17年	95.9%	92.4%	93.0%	98.0%	94.9%	85.0%	79.1%	81.0%	91.3%
	18年	95.9%	91.3%	93.0%	97.7%	94.9%	83.1%	86.7%	74.4%	90.7%
	19年	95.9%	91.3%	84.1%	93.1%	95.4%	74.9%	84.5%	68.5%	86.6%
	20年	95.9%	86.3%	82.2%	91.4%	88.8%	72.2%	83.6%	67.7%	84.1%
	21年	95.9%	84.4%	80.4%	88.3%	65.3%	65.6%	82.0%	62.5%	76.9%
	22年	95.9%	84.4%	79.4%	86.8%	64.8%	61.3%	74.1%	62.1%	73.8%
	23年	87.6%	70.0%	71.5%	86.2%	64.2%	47.3%	68.6%	53.3%	66.3%
	24年	87.6%	70.0%	69.2%	77.4%	64.0%	43.0%	65.6%	52.1%	63.8%

注) 都市計画法区域市町村を除く

図-2 中畑売買価格の年次別推移

(単位:千円/10a)



(5) 農用地区域内田畑売買価格の水準

地区別に多少のばらつきがあるものの、田畑ともに一定の価格帯を形成している。

中田の売買価格水準を調査対象地点数（昭和25年時点の239市町村から都市計画法の線引きが完了している秋田市・潟上市を除いた213市町村）で見ると、60～80万円の価格帯で43.9%を占め、40～100万円の価格帯では全体の90%以上を占めている。（表－5、図－3）

中畑の売買価格水準を地点数で見ると、20～30万円の価格帯で38.6%を占め、10～40万円の価格帯では全体の80%以上を占めている。（表－6、図－4）

表－5 地域別中田売買価格の水準

（単位：地点数）

区 分	鹿 角	北秋田	山 本	秋 田	由 利	仙 北	平 鹿	雄 勝	計	
									実 数	割 合
20万円 未満	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.5%
20万円 ～ 40万円	0	2	3	3	0	1	0	0	9	4.2%
40万円 ～ 60万円	3	10	22	7	7	25	6	3	83	39.2%
60万円 ～ 80万円	7	18	1	8	12	14	13	20	93	43.9%
80万円 ～ 100万円	1	2	0	0	8	2	7	0	20	9.4%
100万円 ～ 120万円	0	0	0	1	1	0	2	0	4	1.9%
120万円 ～ 140万円	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.5%
140万円 ～ 160万円	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
160万円 ～ 180万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
180万円 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	11	32	26	19	29	42	29	24	212	100.0%

注 都市計画法区域市町村を除く

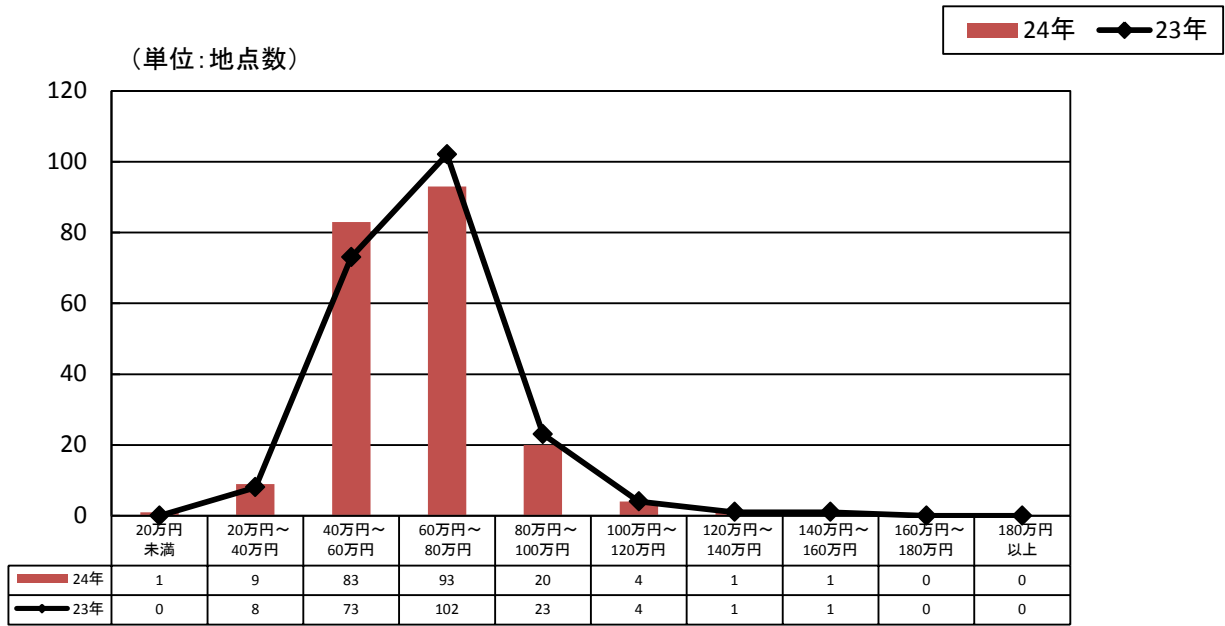
表－6 地域別中畑売買価格の水準

（単位：地点数）

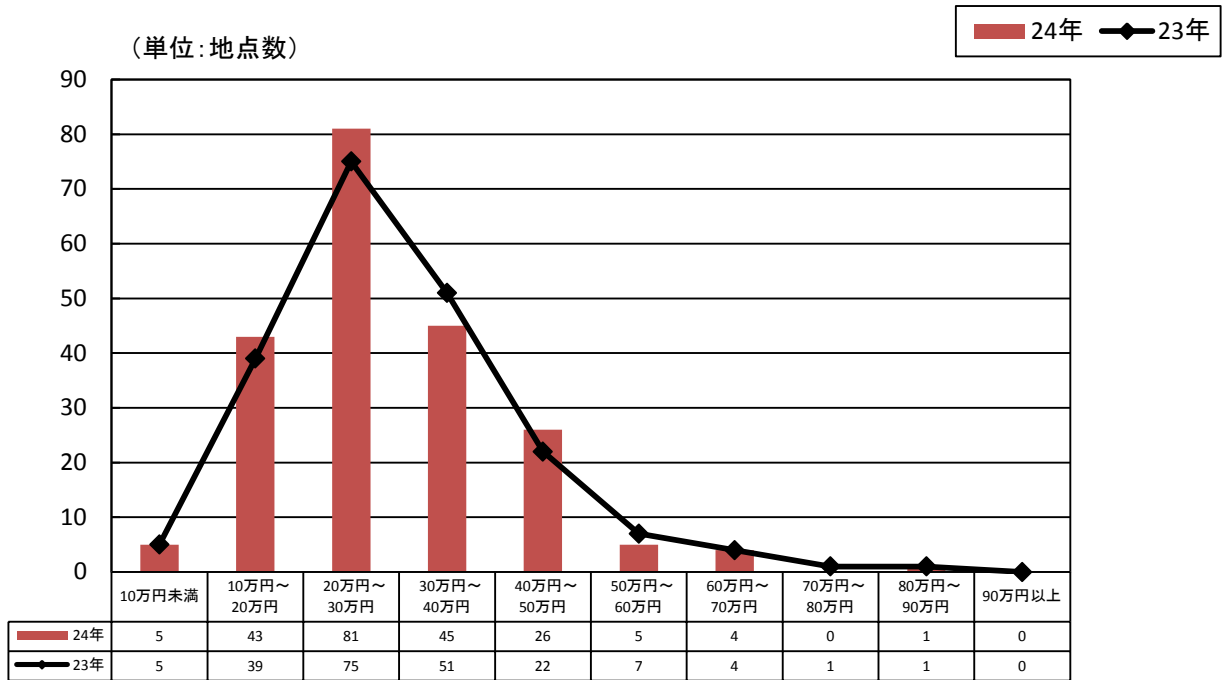
区 分	鹿 角	北秋田	山 本	秋 田	由 利	仙 北	平 鹿	雄 勝	計	
									実 数	割 合
10万円 未満	0	0	4	0	0	0	1	0	5	2.4%
10万円 ～ 20万円	0	13	10	2	4	13	0	1	43	20.5%
20万円 ～ 30万円	0	10	12	11	8	18	5	17	81	38.6%
30万円 ～ 40万円	6	5	0	3	9	4	13	5	45	21.4%
40万円 ～ 50万円	5	3	0	2	7	4	5	0	26	12.4%
50万円 ～ 60万円	0	0	0	0	0	2	3	0	5	2.4%
60万円 ～ 70万円	0	0	0	0	0	1	2	1	4	1.9%
70万円 ～ 80万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
80万円 ～ 90万円	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.5%
90万円 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
計	11	31	26	18	29	42	29	24	210	100.0%

注 都市計画法区域市町村を除く

図－3 中田の売買価格別地点数



図－4 中畑の売買価格別地点数



### 3. 農用地域内における自作地売買価格の動向

#### (1) 中田・中畑の売買価格の動向（表－7、図－5、図－6）

田畑売買価格の動向については、前年から「横ばい」となった地点が最も多く、中田で77.2%、中畑で80.2%となっている。

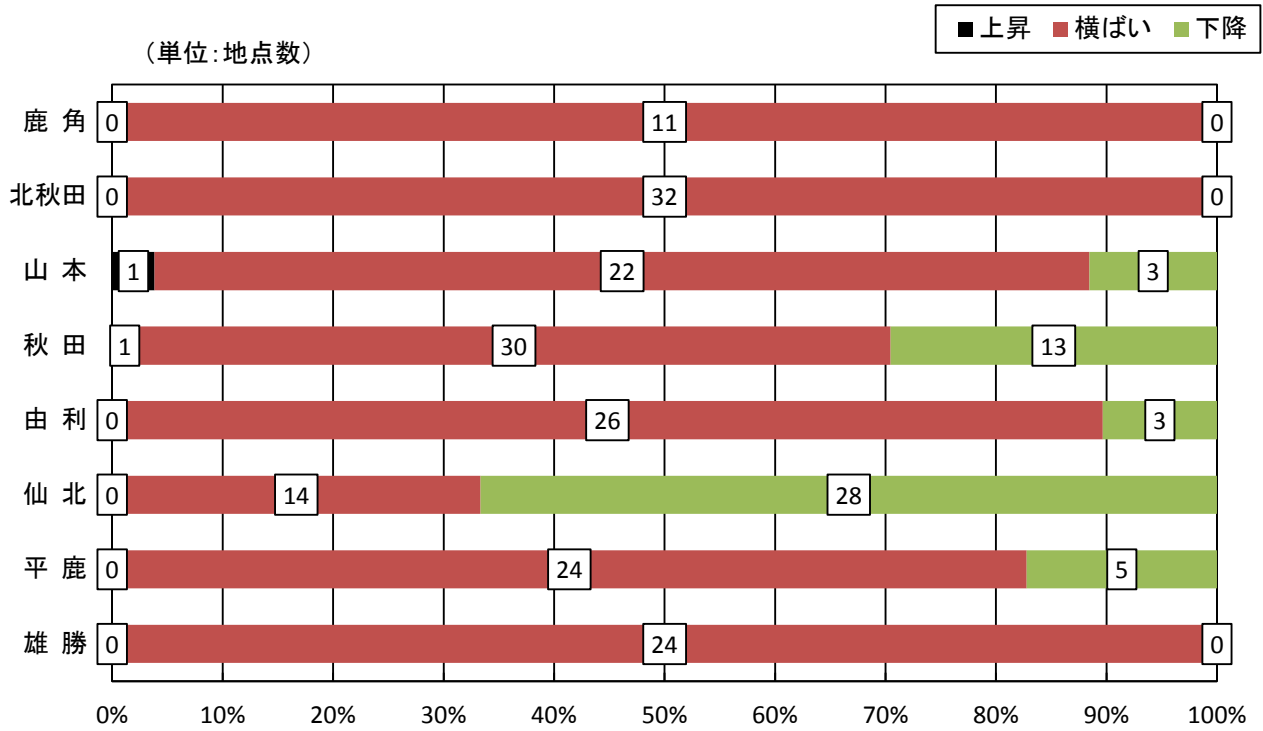
また、中田では「横ばい」となった地点が増加した一方、中畑では「下降」となった地点が増加している。

表－7 地域別売買価格の動向

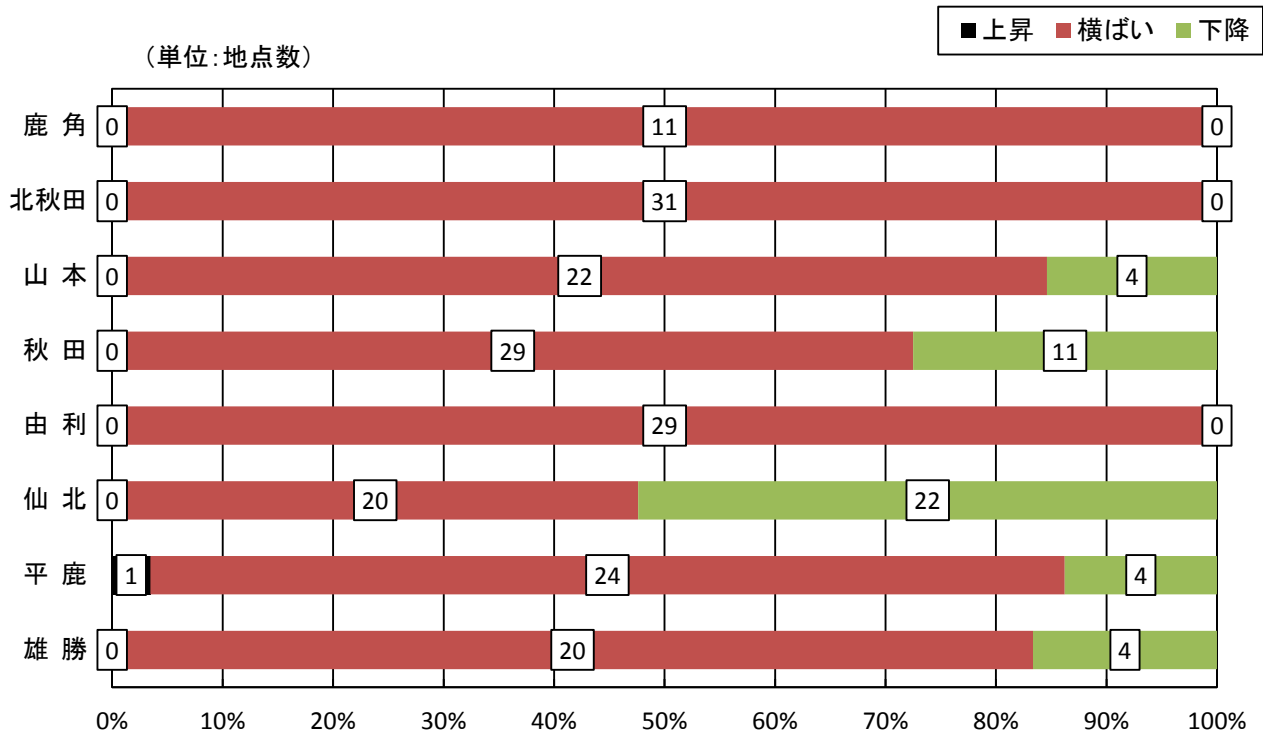
(単位：地点数)

地 域	中 田							
	上 昇		横 ば い		下 降		計	
	23年	24年	23年	24年	23年	24年	23年	24年
鹿 角	0	0	11	11	0	0	11	11
北秋田	0	0	30	32	2	0	32	32
山 本	0	1	17	22	9	3	26	26
秋 田	0	1	25	30	19	13	44	44
由 利	0	0	29	26	0	3	29	29
仙 北	0	0	24	14	18	28	42	42
平 鹿	1	0	23	24	5	5	29	29
雄 勝	0	0	14	24	10	0	24	24
計	1	2	173	183	63	52	237	237
(比率%)	(0.4)	(0.8)	(73.0)	(77.2)	(26.6)	(21.9)	(100.0)	(100.0)
地 域	中 畑							
	上 昇		横 ば い		下 降		計	
	23年	24年	23年	24年	23年	24年	23年	24年
鹿 角	0	0	11	11	0	0	11	11
北秋田	0	0	29	31	2	0	31	31
山 本	0	0	22	22	4	4	26	26
秋 田	0	0	26	29	14	11	40	40
由 利	0	0	29	29	0	0	29	29
仙 北	0	0	36	20	6	22	42	42
平 鹿	0	1	21	24	8	4	29	29
雄 勝	0	0	20	20	4	4	24	24
計	0	1	194	186	38	45	232	232
(比率%)	(0.0)	(0.4)	(83.6)	(80.2)	(16.4)	(19.4)	(100.0)	(100.0)

図－5 中田売買価格の地域別動向



図－6 中畑売買価格の地域別動向



(2) 田畑売買価格「上昇」の理由(表-8、表-9)

中田価格の上昇の理由は、「農業経営の規模拡大意欲が強い」、「圃場整備・土地改良事業等が行われた」となっている。

中畑価格の上昇の理由は、「その他」となっている。

表-8 中田の地域別上昇理由

(単位:地点数)

上 昇 の 理 由	鹿 角	北秋田	山 本	秋 田	由 利	仙 北	平 鹿	雄 勝	計	
									実 数	比 率
農業収益が増加・安定している									—	
農業経営の規模拡大意欲が強い				1					1	50.0%
圃場整備・土地改良事業等が行われた			1						1	50.0%
農用地区域の周辺で宅地化が進行した影響									—	
他の地区からの代替地取得が多かった									—	
工業用地等のための民間企業による買収の影響									—	
道路・鉄道等公共買収の影響									—	
農外資本による土地投機が行われたため									—	
農地は売らないものという意識が強く、売りに出される農地が少ない									—	
農地価格は上昇するという意識が強く、前年より高い価格で売買された									—	
その他									—	
計	0	0	1	1	0	0	0	0	2	100.0%

表-9 中畑の地域別上昇理由

(単位:地点数)

上 昇 の 理 由	鹿 角	北秋田	山 本	秋 田	由 利	仙 北	平 鹿	雄 勝	計	
									実 数	比 率
農業収益が増加・安定している									—	
農業経営の規模拡大意欲が強い									—	
圃場整備・土地改良事業等が行われた									—	
農用地区域の周辺で宅地化が進行した影響									—	
他の地区からの代替地取得が多かった									—	
工業用地等のための民間企業による買収の影響									—	
道路・鉄道等公共買収の影響									—	
農業資本による土地投機が行われた									—	
農地は売らないものという意識が強く、売りに出される農地が少ない									—	
農地価格は上昇するという意識が強く、前年より高い価格で売買されたため									—	
その他							1		1	100.0%
計	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100.0%

#### 4. 転用目的自作地売買価格の動向

都市農業地域の市街化調整区域内においては、中田・中畑いずれの転用目的でも横ばいとなった。（表－12）

純農業地域においては、中田の「商業・工業用地（民間）」で対前年比 114.1%、中田の「住宅用地（民間）」で対前年比 103.1%の上昇となった一方、中畑の「学校・公共施設等」で対前年比 57.8%、中田の「学校・公共施設等」で対前年比 62.2%の下落となった。

（表－13）

表－12 都市農業地域の転用目的売買価格

（単位：円/3.3㎡）

区分	市街化区域							
	中田				中畑			
	住宅用地 （民間）	商業・ 工業用地 （民間）	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用 （民間）	商業・ 工業用地 （民間）	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
平成 23 年	22,520	20,000		17,000	36,500	20,000		
平成 24 年	22,520	20,000		17,000	36,500	20,000		
対前年比	100.0%	100.0%	—	100.0%	100.0%	100.0%	—	—
区分	市街化調整区域							
	中田				中畑			
	住宅用地 （民間）	商業・ 工業用地 （民間）	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用 （民間）	商業・ 工業用地 （民間）	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
平成 23 年	10,950	9,750	35,000	25,000	15,000	9,750	35,000	25,000
平成 24 年	10,950	8,500			15,000	8,500		
対前年比	100.0%	87.2%	—	0.0%	100.0%	87.2%	—	—

表－13 純農業地域の転用目的売買価格

（単位：円/3.3㎡）

地域	中田				中畑			
	住宅用地 （民間）	商業・ 工業用地 （民間）	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用 （民間）	商業・ 工業用地 （民間）	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
鹿角								
北秋田	26,077				26,538			
山本	11,179	12,962			11,667	15,192		
秋田	22,833	26,000			16,417	25,000		
由利	26,900	25,233	20,000	9,900	13,350	24,508	10,000	8,910
仙北	24,806	21,583			18,958	15,083		
平鹿	32,875	42,286	10,000	20,000	27,281	17,800	10,000	20,000
雄勝	18,957	19,500			16,214	15,000		
県平均	23,375	24,594	15,000	14,950	18,632	18,764	10,000	14,455
平成 23 年	22,665	21,554	15,000	24,050	22,123	19,755	10,000	25,000
対前年比	103.1%	114.1%	100.0%	62.2%	84.2%	95.0%	100.0%	57.8%



参考－2 農業地域類型別転用目的売買価格

(単位：円/3.3㎡)

農業地域類型	中 田				中 畑			
	住宅用地 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等	住宅用 (民間)	商業・ 工業用地 (民間)	国・県道、 高速道、 鉄道用地	学校・公 共施設等
都市的地域	47,222	52,000			50,375	45,900		
平地農業地域	24,923	23,503	10,000	20,000	19,213	17,635	10,000	20,000
中間農業地域	17,829	15,024		10,890	17,519	15,270		8,910
山間農業地域	16,438	13,900	20,000		15,449	12,900	10,000	
県 平 均	23,375	24,594	15,000	14,950	18,632	18,764	10,000	14,455
平成 23 年	22,665	21,554	15,000	24,050	22,123	19,755	10,000	25,000

注) 都市計画法区域市町村を除く

## Ⅱ. 平成 24 年度田畑売買価格等に関する調査要領

### 1 調査の目的

本県における田畑売買価格の動向を把握し、農地対策、構造政策推進の資料とする。

### 2 調査の方法

#### (1) 調査の機構

本調査は、全国農業会議所が作成した調査票に基づき、県農業会議を通じて県内市町村農業委員会が実施した。

#### (2) 調査対象市町村と調査地区

調査対象は県内全市町村とし、調査地区は昭和 25 年当時の旧市町村とした。また、その後の市町村合併に伴い旧市町村が分割されて複数市町村に分割編入されたものは、それぞれを調査地区としており、調査地区は 239 である。

#### (3) 調査対象農地

調査対象農地は、地区内の収量水準や生産条件等が標準的な中田・中畑とした。

#### (4) 売買価格のとり方

調査時点で、都市計画法・農振法の線引き区分別に、地区の状況に基づき売り手・買い手双方が妥当とみて実際に取引されたであろう価格を把握した。

#### (5) 調査地域

田畑別、都市計画法・農振法の線引き区分別に、地区の状況をもっとも的確にあらわしていると想定される地域とした。

#### (6) 調査時点

調査時点は平成 24 年 5 月 1 日を調査時点とした。

#### (7) 調査の集計

都市計画法（以下、「都計法」という）ならびに農業振興地域の整備に関する法律（以下、「農振法」という）による線引き区域区分と、地域の動向を見るために地域別に区分し集計を行った。

##### ① 都市計画法の線引きによる調査対象市町村の区分

区 分	市 町 村 名	旧市町村数
都計法により線引きが完了した市町村	秋田市、潟上市	26
都計法による線引きをしていない市町村	上記以外の市町村	213
計		239

②調査対象地域・市町村・農業地域類型別区分

地域区分	市町村名	農業地域類型				計
		都市的地域	平地農業地域	中間農業地域	山間農業地域	
鹿角地域	鹿角市		錦木村	花輪町、柴平村、毛馬内村、七滝村、尾去沢町	大湯町、宮川村、曙村	9
	小坂町				小坂町、七滝村	2
北秋田地域	大館市	大館町、扇田町	釈迦内村、真中村、二井田村	上川沿村、下川沿村、十二所町、花岡村、東館村、西館村	長木村、矢立村、大葛村、早口村、山瀬村	16
	北秋田市	鷹巣町	坊沢村、米内沢町、上大野村	栄村、七座村、沢口村、綴子村、落合村、下大野村、下小阿仁村	七日市村、前田村、阿仁合町、大阿仁村	15
	上小阿仁村				上小阿仁村	1
山本地域	能代市	能代市、二ツ井町	鶴形村、浅内村、塙川村	桧山町、常盤村、荷上場村、富根村、七座村	種梅村、響村、桧山村	13
	藤里町				藤琴村、粕毛村	2
	三種町		鹿渡町、森岳村、金岡村、鶴川村、浜口村	下岩川村	上岩川村	7
	八峰町			沢目村、塙川村	八森村、岩館村	4
秋田地域	秋田市	秋田市、外旭川村、飯島村、仁井田村、四ツ小屋村、下北手村	下新城村、豊岩村、金足村、豊島村、川添村	浜田村、上北手村、下浜村、和田町、戸米川村、種平村、大正寺村	大平村、上新城村、岩見三内村	21
	男鹿市		脇本村、五里合村、船越町、潟西村、払戸村	船川港町、男鹿中村、戸賀村、北浦町		9
	潟上市		昭和町、金足村、豊川村、飯田川町、天王町			5
	五城目町		五城目町、大川村、面潟村		馬場目村、富津内村、内川村	6
	八郎潟町		一日市町、面潟村			2
	井川町		下井河村	上井河村		2
	大潟村		大潟村			1
由利地域	由利本荘市	本荘町	子吉村、小友村、西滝沢村、岩谷村	石沢村、北内越村、南内越村、松ヶ崎村、矢島町、亀田町、東滝沢村、鮎川村、下川大内村、下郷村、玉米村、西目町、川内村	道川村、上川大内村、直根村、笹子村	22
	にかほ市	平沢町、象潟町	小出村、金浦町	院内村、上浜村、上郷村		7
仙北地域	大仙市	大曲町、花館村	内小友村、大川西根村、藤木村、四ツ屋村、角間川町、神宮寺町、北檜岡村、強首町、長野町、清水村、豊川村、豊岡村、淀川村、横沢村、高梨村、横堀村	刈和野町、土川村、大沢郷村、荒川村、峰吉川村、長信田村、外小友村、南檜岡村	船岡村	27
	仙北市	角館町		中川村、雲沢村、生保内村、神代村、西明寺村	白岩村、田沢村、檜木内村	9
	美郷町		六郷町、畑屋村、金沢西根村、飯詰村、金沢村	千屋村		6
平鹿地域	横手市	横手町	境町村、黒川村、旭村、栄村、増田町、浅舞村、吉田村、醍醐村、沼館町、里見村、福地村、館合村(旧雄物川町)、大森町、川西村、十文字町、三重村、睦合村、植田村、阿気村、田根森村、館合村(旧大雄村)	山内村、金沢町、西成瀬村、駒形村、明治村、八沢木村	山内村	29
雄勝地域	湯沢市	湯沢町	山田村、弁天村、岩崎村、幡野村、川連町	三関村、稲庭村、三梨村、駒形村、横堀町、小野村	須川村、院内町、秋ノ宮村、皆瀬村	16
	羽後町		西馬音内町、新成村、三輪村	田代村、明治村	元西馬音内村、仙道村	7
	東成瀬村				東成瀬村	1
計		19	93	82	45	239

### ③集計結果の表示

- ・ 集計した農地価格は、報告のあった旧市町村の農地価格等に基づき、その旧市町村が属する現在の市町村ごとに平均値を算出し、その地域区分内の各市町村平均の合計値を現在の市町村数の合計で除した平均値としている。

なお平成22年度までの数値は、報告のあった旧市町村の平均価格等の合計値を、その地域区分内の旧市町村数の合計で除した平均値としている。

- ・ 10a あたりの価格として、千円未満は四捨五入している。転用価格は3.3㎡あたりの価格で表示している。

数値はラウンドしてあるため、総数とその内訳を合計したものとが一致しない場合がある。また、各表の変動率、割合等はラウンド前の原数値により算出しているため、表上の数値で算出したものと若干の誤差が生じる場合がある。

- ・ 本調査では便宜上、農地価格の変動要因については対前年比で-3%未満を「下落」、±3%以内を「横ばい」、+3%超を「上昇」としている。